

# 平成29年度 公益財団法人鹿沼市農業公社 事業報告

農業情勢は農業従事者の高齢化、後継者不足による耕作面積の減少、それに伴う食糧自給率の低下、加えて異常気象による農産物の価格の乱高下、食糧の安定供給への懸念など、依然厳しい状況が続いています。

また、混迷する TPP 問題に加え、これまで半世紀にわたり続いてきた「減反政策」の廃止など、日本の農業は大きな転換期を迎えています。

そのような状況のなか農業公社においては、農作業の受委託や農地の面的集積の調整を推進していくとともに、市の「いちご市」宣言を受け、新規就農者であるいちご研修生の受入れや、親子農業体験学習の実施、狩猟免許取得助成などの事業を展開してまいりました。

また、農地中間管理事業や農地利用集積円滑化事業等、農地流動化推進を中心に据え、関係機関との連携を密にして、効率的かつ安定的な農業経営が継続できるよう、各種公益事業等に取り組みました。

以下、具体的な事業については、下記のとおり報告いたします。

## 1 理事会の開催状況

開催区分	開催日	開催内容
定時理事会	2月24日	・平成28年度 事業報告の承認について ・平成28年度 収支決算の承認について ・平成29年度 補正予算の承認について ・平成29年度 定時評議員会の招集について ・理事長、副理事長、常務理事の職務執行状況の報告について
臨時理事会	3月23日	・組織規程等の一部改正について ・役員を選任について
臨時理事会	4月1日	・役員及び評議員選定委員の選任について
臨時理事会	7月26日	・平成29年度 補正予算(案)の承認について、 ・理事長、副理事長、常務理事の職務執行状況の報告について
臨時理事会	9月25日	・役員を選任について
定時理事会	12月20日	・平成29年度 補正予算(案)について ・平成30年度 事業計画(案)について ・平成30年度 収支予算(案)について ・資金調達及び設備投資の見込みについて ・評議員会の招集について ・職員給与規程の一部改正について

## 2 評議員会の開催状況

開催区分	開催日	開催内容
定時評議員会	3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度 事業報告の承認について</li> <li>平成28年度 収支決算の承認について</li> <li>理事の選任について</li> </ul>
臨時評議員会	3月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事及び監事の選任について</li> </ul>
臨時評議員会	9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事の選任について</li> </ul>
臨時評議員会	12月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度 補正予算(案)について</li> <li>平成30年度 事業計画(案)について</li> <li>平成30年度 収支予算(案)について</li> <li>資金調達及び設備投資の見込みについて</li> </ul>

## 3 各種事業の実施状況について

### (1) 農地集積円滑化事業

区分	当初計画		実績		備考
地主	戸数	550戸	戸数	549戸	対比 99.8%
	/		筆数	1,829筆	/
	面積	370ha	面積	372.2ha	対比 100.6%
担い手	戸数	77戸	戸数	79戸	対比 102.6%
	/		筆数	1,829筆	/
	面積	370ha	面積	372.2ha	対比 100.6%

- 農地利用集積円滑化事業の新規契約

区分	実績			備考	
地主	戸数	56戸	面積	26.8ha	
担い手	戸数	14戸	面積	26.8ha	

## (2) 農作業受委託等推進事業

### ① 農作業支援制度確立のための調査、相談活動の実施状況

- ・ 農作業支援者の登録  
水田の水管理 48名  
畦畔の草刈作業 30名 グループ1団体
- ・ 畦畔等の草刈委託希望農家に対し、登録者情報を随時提供
- ・ 現地にて委託希望農家と農作業支援登録者との調整(畦畔面積を計測し、料金設定等の指導)を実施
- ・ 草刈り・水管理 実績 : 戸数 101戸、面積 78.8ha

### ② 農地相談会

- ・ 農地の売買、賃貸借、農作業委託等の農地に関する総合的な相談会を年1回開催した。  
開催日: 12月3日(日) 市農政課、農業委員会事務局、農業委員  
相談件数: 12件  
(貸付・売却 7件、購入規模拡大 1件、新規就農 4件)

## (3) 耕作放棄地対策事業

### ① 雑草駆除作業等の支援

- ・ 雑草駆除・耕起 実績 戸数 14戸、面積 58.4ha

### ② 耕作放棄地の解消に関する事業の実施

- ・ 農地リニューアル事業への協力(現地調査)

## (4) 新規就農者支援事業

### ・ 市いちご新規就農者研修事業

平成28年11月に市が「いちご市」を宣言したことを受け、平成29年から「鹿沼市いちご新規就農者支援対策協議会」の構成メンバーとして参画した。また、いちご課を新設し、研修用ハウスを設置し研修生の受け入れを開始した。

## (5) 農業への理解促進と将来の担い手確保促進事業

### ① 親子農業体験学習

- ・ 市生涯学習課と連携し、市内の小学生・保護者を対象に農業体験を通して農業の大切さ、食への関心を高めた。

参加者: 18組 46名

開催: 5月20日(土) 枝豆、さつまいも、落花生、とうもろこし播種作業  
すいか苗植え作業

8月5日(土) すいか、枝豆、とうもろこし収穫 草取作業

10月7日(土) 落花生、さつまいも収穫作業  
収穫祭(おにぎり、豚汁で食事会)

## ② 鳥獣害対策

- ・ イノシシやシカ、サルなど野生鳥獣による被害が深刻な状況にあるため、農作物の被害減少に向け、当社に密接に関わっている委託者地権者連絡協議会にて、山林や農地を巡回しながら鳥獣の追払いや雑草の刈払い、柵の点検等を行った。

また、減少傾向にある狩猟免許取得者を確保するため、市林政課や猟友会と連携し事前講習会の案内や狩猟免許取得までの経費の一部を助成した。

- ・ 補助対象者の地域と人数

北押原地区 1名

## ③ 麻の生産について

- ・ 鹿沼市の伝統工芸作物である麻の栽培を継続するため、生産技術の研究や麻の正しい知識の普及啓発、需要拡大を図った。

また、作業を行うための道具の購入と近隣農家から器具等の提供を受けた。

- ・ 購入品

麻ふね

- ・ 寄託品

麻ひき機

## (6) 循環型社会形成事業

- ・ 市環境部の協力要請を受け、月島機械(株)や、日本下水道事業団などとともに、脱水乾燥システムによる、下水汚泥の肥料化、燃料化を図るべく「下水道革新的技術実証事業」が、国の補助を得て行われ、当公社では、「汚泥肥料の実証試験圃」を設置し、有効利用の可能性について試験した。

## (7) 機械・施設のリース事業

- ・ 農業機械リース事業の実施

貸出先： 有限会社 農業生産法人かぬま

資産名称： ・機械 33台 ・車両 17台 ・建物・備品 9件